

令和3年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和3年6月6日（日）午前10時～11時40分

場 所：地域交流センターともべ「トモア」

出席者：17名

《説明後の意見交換》

- 1 新型コロナワクチンについて
- 2 災害ボランティアについて
- 3 モノタロウ協公園の日よけについて
- 4 ごみの持ち込みについて
- 5 道の駅のシェアサイクルについて
- 6 イングリッシュスペースの再開について
- 7 回覧板について
- 8 カポカに代わる制度について
- 9 デジタル化について
- 10 医療機関とマイナンバーカードの連携について

1 新型コロナワクチンについて

【意見等】

高齢者向けワクチン接種について、集団接種は「年代別」「時間指定」といった、高齢者が不安にならないような対応をお願いしたい。また、個別の医療機関での予約がなかなかできない。どのくらい通院していれば「かかりつけ医」となるのかがわからない。さらに、予約システムは問題が多い。一方で、インターネット予約のサポート窓口を設けてくれるとのことで、そのことについては感謝する。

【回答】

ご不便をおかけしたところは反省し、次回の接種に向けて進めていく。笠間市は、市民が不安にならないように接種体制を早々に構築したため、国の方針を出してからの変更が難しい。また、どこまでが「かかりつけ医」かは明確ではないが、市内の医療機関は協力してくれているので、ご理解いただきたい。

【意見等】

ワクチン接種について、2回目の予約をしていない人が約200名いると聞いた。システムなどはどうなっているのか。

【市長】

受付システムに故障があった。2回目の予約をしていない人には、個別に連絡している。

【意見等】

12歳以上のワクチン接種が始まると聞いているが、どのように考えているのか。

【回答】

マスコミ報道が先行している。通知が正式に来ていないが、16歳以上から12歳以上に変わると思われる。状況を見て対応したい。

2 災害ボランティアについて

【意見等】

災害ボランティアについて、被災者の意向を考慮した対応をお願いしたい。また、企業への働き掛けも含め、ボランティア人材を育成するような仕組みを作ってほしい。さらに、ボランティア活動時の移動や交通手段に対する補助はあるのか。そして、ボランティア団体と市職員とは交流をしているのか。

【回答】

災害状況によってボランティアに依頼する内容が異なる。また、人材育成の仕組みは制度化されていないため、今後検討が必要である。ボランティアは自主的なものなので、お願いという形になる。補助制度は県にある。ボランティア団体と市職員の交流は行っていないが、どうやって若い人にも関心を持ってもらえるかが課題である。

3 モノタロウ脇公園の日よけについて

【意見等】

モノタロウ脇の公園に、四阿（あずまや）または日よけなどを設置してほしい。

【回答】

設置可能かどうか、調査する。

4 ごみの持ち込みについて

【意見等】

環境センターやエコフロンティアかさまへのごみの持ち込みの制限はあるか。今後どのようなになるのか。

【回答】

現在は施設ごとに制限量が異なっている。エコフロンティアかさまの処理ができなくなった場合は、環境センターに持ち込みしてもらおうことを考えている。

5 道の駅のシェアサイクルについて

【意見等】

道の駅に設置されるシェアサイクルについて、大人用と子ども用があるのか。

【回答】

スポーツタイプとシティタイプの2種類がある。大人用と子ども用の区別はないが、利用に際して、身長制限（おおむね150cm以上）がある。

6 イングリッシュスペースの再開について

【意見等】

市民活動課でアンドリューさんが行っていたイングリッシュスペースという講座が終わってしまった。再開する予定はないのか。

【回答】

当人が6月から道の駅整備推進課に異動したが、事業見直しの対象になったと思われる。再開の要望があることは承知したが、再開の可否は検討する。

7 回覧板について

【意見等】

回覧板について、配布物によって綴じ方が違うものがあり、また「配布」「回覧」の別がある。区別できるような板にならないか。

【市長】 担当部署で検討する。

8 カポカに代わる制度について

【意見等】

ボランティア活動に対するポイント付与制度である「カポカ制度」が終わっているが、これに代わる制度はないのか。

【回答】

カポカは、県のヘルスケアポイント制度と重複する部分があったため廃止した。ヘルスケアポイント制度については、追って詳細を連絡する。

※後日、本人へチラシ等を郵送済み。

9 デジタル化について

【意見等】

市全体でデジタル化が進んでも、デジタルの恩恵を受けることができない高齢者等がいると思うが、その対応はどのように考えているのか。

【回答】

例えば、携帯会社と連携してスマホ講習会などを行うのも一つの方法だと思う。いろいろな視点から検討したい。

10 医療機関とマイナンバーカードの連携について

【意見等】

保険証機能を搭載したマイナンバーカードを使える医療機関が増えるように国へ要望してもらえないか。

【市長】

国のシステム構築が遅れている。マイナンバーカードの取得推進も行っており、連携ができるように調整していきたい。